





# 2025年環境報告書



## ENVIRONMENTAL REPORT2-92-5









## 会社概要

本社所在地 〒424-0825 静岡県静岡市清水区松原町5-17

会社設立 1949年3月

従業員数 298名(2025年9月現在)

#### 事業内容

#### <建築部門>

物流倉庫、工場・プラント関連、事務所、商業施設・店舗、学校・教育施設、医療・介護・ 福祉施設、文化・スポーツ施設、宗教施設、集合住宅、戸建住宅

#### <土木部門>

道路・舗装・橋梁、河川・海岸・港湾、造成・公園、上下水道、老朽化対策・予防保全、環境・新エネルギー関連事業、防災関連事業

#### <その他>

土地建物取引、他

## 鈴与建設株式会社の基本理念

当社は、日々多様化する社会、地域の課題やお客様のニーズに対して、同じく日々進歩する最新の技術や、日々培っていく実績や知見をもって顧客と地域社会から高い評価が得られる構築物を提供することを目的とします。

## 環境マネジメントシステム

鈴与建設は、国際規格ISO14001

環境マネジメントシステムの認証を取得しています。

認証機関 インターテック・サーティフィケーション株式会社

認証登録番号 03108-B

認証範囲 土木構造物及び建築構造物の設計施工付帯サービス

初回登録日 2005年11月18日

認証発行日 2024年10月1日



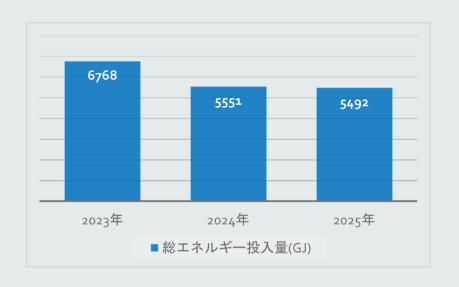
给与建設環境報告書2025

## 環境管理計画と結果

環境管理計画に基づき環境負荷低減活動を展開し2025年度の取り組み結果は下記のとおりです。

環境目的	環境目標	2025年度結果	主な取り組み
オフィス活動における温室効果ガス(CO2)削減	Co2排出量3.17 t -Co2/人以下	Co2排出量2.42t-Co2/人 対目標値24%減	借上げ車を廃止した結果ガソリン使用量が 少なくなったためCo2排出量が減少しまし た。
水資源投入量の削減	水資源投入量 9.3㎡/人以下	水資源投入量 7.34㎡/人 対目標値8%減	節水を心がけ水道使用量が減少しました。
混合廃棄物排出率の削減	全産業廃棄物に占める 混合廃棄物割合 3.0%以下	全産業廃棄物に占める 混合廃棄物排出率3.5%	事業系一般廃棄物の巡回回収及び分別収集 を推進し混合廃棄物減少に努めます。

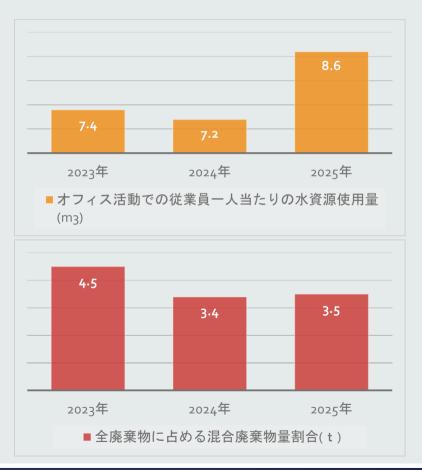
## エネルギー使用量の推移





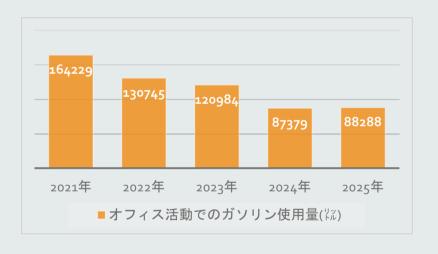
## 環境影響負荷の推移





## 電力使用量とガソリン使用量の5年間推移



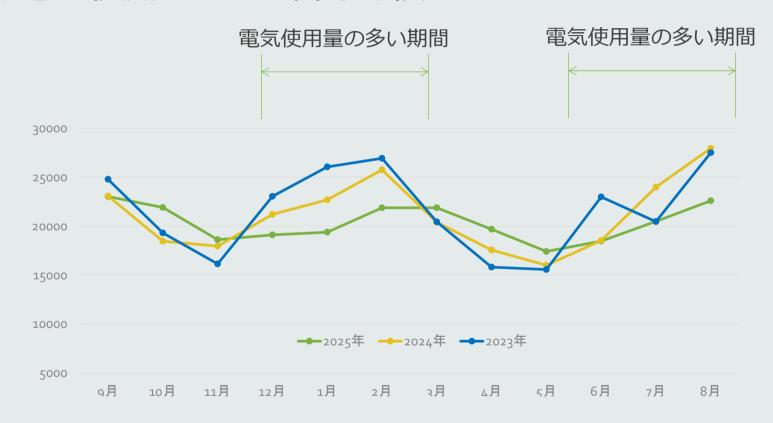


空調機器の温度設定の見直しやこまめな電源OFFを継続して心がけ電気使用量が減少傾向にあります。

Web会議など継続し車両による移動を減らしガソリン使用量も減少傾向にあります。。

<del>给与建設環境報告書2025</del>

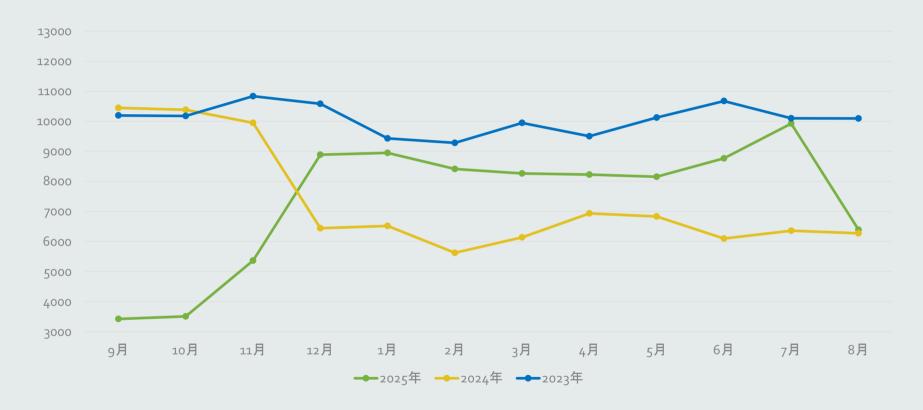
## 月別電力使用量の3年間比較



12月~2月、6月~8月の電気使用量が多くなる傾向にあります。この期間の空調機器の温度設定の見直し、こまめな電源OFFを心がけています。

<del>给与建設環境報告書2025</del>

## 月別ガソリン使用量の3年間比較



不必要な移動を控え、ECO運転を心がけた結果ガソリン使用量は年々減少しています。

## 環境監査

環境マネジメントシステムの運用状況を確認するため、【内部監査】を年1回実施 しています。

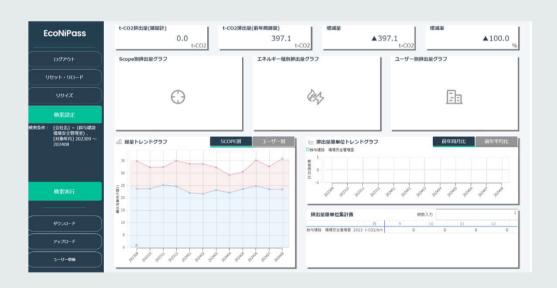
#### 【内部監查】

監査の独立性を確保するために、被監査部署以外の内部監査員からなる監査チームを組織し、環境マネジメントシステムISO14001に基づく監査を実施し継続的な改善と環境意識の向上に努めています。

<del>翁与建設環境報告書2025</del>

## 脱炭素社会への取組

鈴与建設株式会社は、2022年12月1日より鈴与商事株式会社が提供する、CO2可 視化プラットフォームサービス「EcoNiPass(エコニパス)」を弊社が請け負う 建設現場で活用し、CO2排出量の見える化を開始いたしました。





給与建設環境報告書2025 10

## 社会への貢献

鈴与建設は地域社会の一員として環境美化活動への参加や地域へ貢献する取組を行っています。



しずおか校庭芝生化応援団



清水みなと祭りへの参加



しずおか建設まつりへの参加

## 産業廃棄物の適切な管理の推進

鈴与建設はマニフェストの電子化をはじめ、産業廃棄物の適切な管理を推進し、 再資源化のよる持続可能な社会作りを進める循環型社会へ貢献していきます。

## 社員教育

鈴与建設は新入社員に対し当社の環境目標・環境マネジメントシステム 産業廃棄物の適正処理について4月と7月の年2回教育を行っています。

### 各部門の環境保全への取り組み

#### 【総務部門】

本社及び支店の電気、自動車燃料、コピー用紙の使用量を監視し、省エネルギーによるCO2の排出削減活動を実施しています。また、グリーン調達を導入してエコ活動を推進しています。

#### 【営業部門】

顧客への営業活動でコスト削減、工程短縮、VE等の価値のある情報を提案しています。

#### 【設計部門】

地形、自然環境の改変・産業廃棄物の排出削減・エネルギーの消費抑制に配慮した設計を行っています。

#### 【原価管理部門】

WEBシステムを活用した見積り条件を実施し、環境影響に配慮した工事積算管理を行っています。

#### 【工事部門】

建設機械の使用に伴う騒音、振動、粉塵の防止及び軽減に努め、工事による第三者災害、道路汚濁、水質汚濁、大気汚染の公害防止を図り、建設廃棄物の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進を強化しています。施工高当たりのCO2排出量を管理し、環境影響に配慮した技術を提供しています。

#### 【環境安全管理部門】

充実した安全衛生管理体制の推進を図り、作業手順書を作成し関係者への周知教育及び確実 実践により災害発生『O』を目指しています。また、コンプライアンス教育の徹底により適正な環境保全の確保に努めています。

#### 【全社部門】

多様化する社会の要求、時代に即した要求に応えるため、高品質・高付加価値の実施に努めています。

また、地域市民の一員としてボランティア活動に参加し、環境負荷の低減にも貢献しています。

## 最近の工事実績



建築施工本部第一工業㈱蕨搬送本店建替工事



土木施工本部 R6(国)149号(港町)電線共同溝設置工事